

令和6年度第1回 岡谷市商業活性化会議

第2次岡谷市商業活性化計画の進捗状況等について

令和6年10月

岡谷市役所産業振興部商業観光課

岡谷商工会議所

岡谷市商業連合会

岡谷TMO

目 次

○第2次岡谷市商業活性化計画の体系図

1. 令和6年度の事業について

【1】岡谷市

- ① 商業等振興補助金「中小小売店舗活性化事業補助金」
- ② オカヤペイ普及拡大事業
- ③ 岡谷市中小企業融資制度
- ④ 創業スクール
- ⑤ テクノプラザおかや コワーキングスペース
- ⑥ おかやシェアオフィス
- ⑦ 空き店舗情報発信強化事業
- ⑧ 商業のしおりの発行
- ⑨ インスタグラムを活用した商店魅力発信事業
- ⑩ 観光宣伝事業
- ⑪ 岡谷シルク商品開発促進事業
- ⑫ 市内店舗／商業会等との定期的な意見交換
- ⑬ 岡谷TMO商業活性化事業補助金

【2】岡谷商工会議所

- ⑭ Okaya Pay事業の推進
- ⑮ 地域資源活用推進事業
- ⑯ 創業支援及び新事業創出等支援事業
- ⑰ 移住・定住促進支援事業
- ⑱ プロスポーツチーム連携による地域振興の推進

【3】岡谷TMO

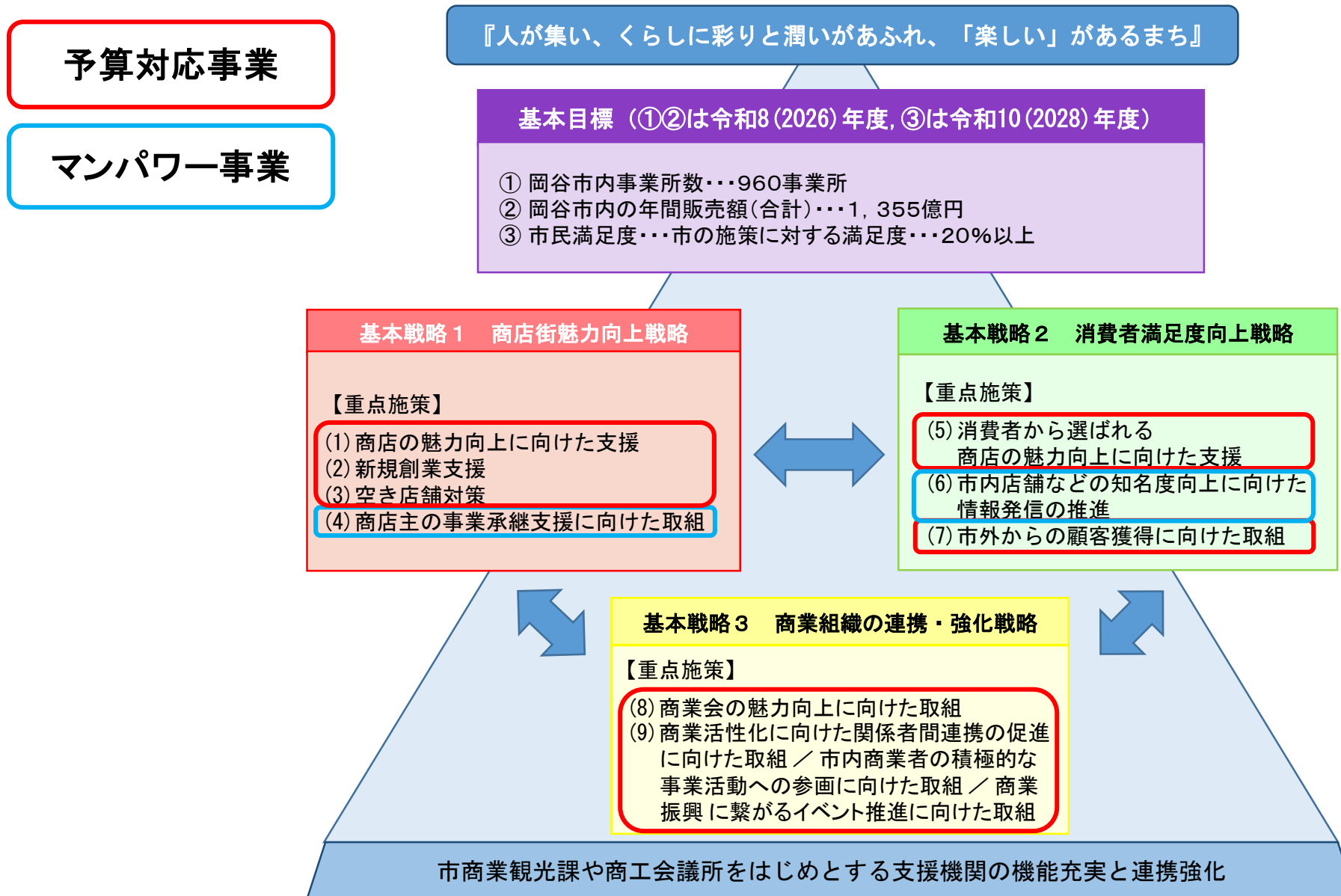
- ⑲ 中心市街地の情報把握と活用
- ⑳ まちづくり人材の育成
- ㉑ 道路・公園等の公共空間の有効活用
- ㉒ 中心市街地イベントの実施支援
- ㉓ 情報発信の強化
- ㉔ 商業活性化補助金の交付

【4】岡谷市商業連合会

- ㉕ 商業会等に加盟する店舗を対象とした販売促進事業

2. シルキーバス利用促進事業

○第2次岡谷市商業活性化計画の体系図



1. 令和6年度の事業について

基本戦略1 商店街魅力向上戦略

重点施策		1.商店の魅力向上に向けた支援	2.新規創業支援	3.空き店舗対策	4.店主の事業承継支援に向けた取組
めざすべきゴール		・魅力ある個店づくりのために、設備投資の支援施策や相談機能などを活用できる環境の実現。 ・買物客にとって魅力を感じられる個店、ひいては魅力あるエリア（商店街）の実現。	・毎年度一定件数の新規創業が実現し、来店者、来街者にとって新たな発見、価値を提供し続けられる商店街の実現。 ・「お店を出すなら岡谷」をめざし、他の自治体に比べて魅力的である本市の創業支援や商業環境をさまざまなメディアで発信している。	・空き店舗数の減少に努め、明るく活気のある、歩いて安全で安心な、そして楽しい商店街の実現。 ・中心市街地における空き店舗の改修事例を中心に紹介するとともに、街全体で空き店舗の利活用が図られている。	・本市で長年愛されてきたお店が途絶えない。 ・事業承継に関する啓発活動（セミナー）や次世代経営者の育成やネットワーク構築により、円滑に事業承継ができる環境の実現。
重要度／優先度		A / A	A / B	A / A	B / B
主な取組	岡谷市	①商業等振興補助金「中小小売等店舗活性化事業補助金」（継続） ②オカヤペイ普及拡大事業（継続） ③岡谷市中小企業融資制度（継続） ⑨Instagramを活用した商店街魅力発信事業（継続） ⑩観光宣伝事業（継続） ○シルキーバス利用促進事業（継続）	①商業等振興補助金「中小小売等店舗活性化事業補助金」（継続） ③岡谷市中小企業融資制度（継続） ④創業スクール（継続） ⑤コワーキングスペース（継続） ⑥おかやシェアオフィス事業（継続） ⑧商業のしおり（継続）	①商業等振興補助金「中小小売等店舗活性化事業補助金」（継続） ③岡谷市中小企業融資制度（継続）（商店近代化資金） ⑦空き店舗情報発信強化事業（継続）	⑧商業のしおり（継続） ⑫市内店舗/商業会等との定期的な意見交換（継続）
	岡谷商工会議所	⑭Okaya Pay事業の推進（継続） ⑮地域資源活用推進事業（拡充）	⑯創業支援及び新事業創出等支援事業（継続）	○事業承継事業（継続）	⑰移住・定住促進支援事業（継続） ○事業承継事業（継続）
	岡谷TMO	⑲道路・公園等の公共空間の有効活用（継続） ⑳情報発信の強化（継続）	⑲中心市街地の情報把握と活用（継続） ○賑わい拠点の立ち上げ（継続）	⑲中心市街地の情報把握と活用（継続） ○賑わい拠点の立ち上げ（継続）	
	岡谷市商業連合会	○専門家による商店街及び個店魅力向上に向けた研修会（新規）			

1. 令和6年度の事業について

基本戦略2 消費者満足度向上戦略

重点施策		5.消費者から選ばれる商店の魅力向上に向けた支援	6.市内店舗などの知名度向上に向けた情報発信の推進	7.市外からの顧客獲得に向けた取組
めざすべきゴール		・消費者の選択肢となるよう、積極的な広告宣伝活動ができる店舗。 ・顧客満足度の向上を図るため、来店者から、「ニーズ」や「困りごと」を吸い上げ、個店での展開だけでなく、商店街全体で共有できる環境の実現。 ・商業者の方々がさまざまな支援制度を活用できるよう、「商業のしおり」を発行継続している。 ・支援制度や相談機能を活用することにより、新たなニーズ把握や積極的な店舗展開ができる環境の実現。	・店舗情報や買い物情報について、従来の媒体（新聞広告など）による発信に加え、消費者が容易にアクセスできる媒体により的確な情報を提供できている。 ・インターネットやSNSについて、専門家を招聘したセミナーを開催するほか、団体での勉強会などに対しても支援し、商業者の方々が活用できている。 ・口コミの影響を活用するため、来店者の満足度向上と来店者による情報発信が促進されている。	・市外の方に対して、岡谷市内での買い物情報や店舗情報を発信している。 ・市内店舗の認知度向上のため、特長ある施設の集客力を生かした回遊性を高められる取組が進められている。
重要度／優先度		A / A	B / A	B / B
主な取組	岡谷市	①商業等振興補助金「中小小売等店舗活性化事業補助金（経営者サポート補助金）」（継続） ②オカヤペイ普及拡大事業（継続） ⑧商業のしおり（継続） ⑨Instagramを活用した商店魅力発信事業（継続） ⑫市内店舗/商業会等の定期的な意見交換（継続） ○シルキーバス利用促進事業（継続） ○駐車場運営補助金	⑨Instagramを活用した商店魅力発信事業（継続） ○広報おかやを活用した店舗紹介	⑨Instagramを活用した商店魅力発信事業（継続） ⑩観光宣伝事業（継続） ⑪岡谷シルク商品開発促進事業（継続）
	岡谷商工会議所	⑮地域資源活用推進事業（拡充）	○若者が働きがいのある地域づくり推進事業（継続）	⑮プロスポーツチーム連携による地域振興の推進（継続）
	岡谷TMO	⑳道路・公園等の公共空間の有効活用（継続）	㉓情報発信の強化（継続）	
	岡谷市商業連合会	○専門家による商店街及び個店魅力向上に向けた研修会（新規）		

1. 令和6年度の事業について

基本戦略3 商業組織の連携・強化戦略

重点施策		8.商業会の魅力向上に向けた取組	9.商業活性化に向けた関係者間連携の促進に向けた取組 ／市内商業者の積極的な事業活動への参画に向けた取組 ／商業振興に繋がるイベント促進に向けた取組
めざすべきゴール		・各商業会の長短所を把握し、特長を活かした商業会活動の実施と対外的な発信。 ・助け合い、協働できる商業会組織。 ・商業会の魅力向上にも繋がる新たな価値提供ができる店舗の増加。	・本市全体があたかもショッピングモールとなり、来街者の方の回遊性を高め、買物だけでなく、楽しいと思える空間となる。 ・大型商業施設と商業会、商業会同士の連携を深め、お互いの「特長」を活かした誘客促進に繋がるイベントの開催。
重要度／優先度		C / C	B / B
主な取組	主な取組み (岡谷市)	⑬岡谷TMO商業活性化事業補助金 ○岡谷市商業連合会補助金 ○駐車場運営補助金 ○商店街街路灯電気料等補助金	⑫市内店舗/商業会等との定期的な意見交換 ⑬岡谷TMO商業活性化事業補助金 ○岡谷市商業連合会補助金
	岡谷商工会議所	○商業連合会への支援（販売促進事業等の支援）	
	岡谷TMO	⑳まちづくり人材の育成（継続） ㉔商業活性化補助金の交付（継続）	㉔中心市街地イベントの実施支援（継続） ㉔商業活性化補助金の交付（継続）
	岡谷市商業連合会	○専門家による商店街及び個店魅力向上に向けた研修会（新規）	㉕商業会等に参加する店舗を対象とした販売促進事業（継続）

その他、以下の事業も実施。

・（市）岡谷TMO運営事業負担金 ・（市）岡谷商工会議所補助金

基本戦略 1 商店街魅力向上戦略

【重点施策】

- (1) 商店の魅力向上に向けた支援
- (2) 新規創業支援
- (3) 空き店舗対策
- (4) 商店主の事業承継支援に向けた取組

【1】岡谷市

【基本戦略1 重点施策1（重要度:A・優先度:A）】

【基本戦略1 重点施策2（重要度:A・優先度:B） 重点施策3（重要度:A・優先度:A）】

【基本戦略2 重点施策5（重要度:A・優先度:A）】

①商業等振興補助金「中小小売店舗活性化事業補助金」

●補助実績

	新規 改修	新規飲食 改修	既存 改修	賃借料 1年目	賃借料 2年目	個店 診断	計（新規創業件数は実数）
令和6年度 （9月30日時点）	0	2	1	2	6	0	11（うち新規創業件数:2）
前年度同期比	0	+1	▲2	+1	▲14	0	▲14（うち新規創業件数:±0）

令和6年度は上半期で11件の補助実績があり、そのうち2件が新規店舗として出店していただきました。



ウェイビー（プリン屋）



なべや～食想人～（ラーメン屋）

②オカヤペイ普及拡大事業

オカヤペイは令和2年4月からサービスを開始した商工会議所の事業。取扱店舗の魅力向上とともに、オカヤペイに対する支援を行っている。

・市においては、オカヤペイの普及に向けて、行政ポイントを発行（**26種類**）



担当課等	ポイント付与の内容	担当課等	ポイント付与の内容
医療保険課	特定健診受診者	介護福祉課	介護予防講演会参加者
	人間ドック受診者		生きがいデイサービス参加者
	運動療法講座受講者		〃 新規参加登録者
健康推進課	後期高齢者健診受診者		新規グループ活動参加者
	後期高齢者人間ドック受診		新規グループ活動新規参加登録者
	各種がん検診受診者		高齢者クラブ新規参加者登録者
	各種健康講演会参加者	子ども課	出産おめでとう
	ゲートキーパー養成講座受講者	環境課	こどもエコクラブ参加者
	基本健康診査受診者		一斉気温測定参加者
	禁煙外来受診者		緑のカーテンコンテスト入賞者
	健康診査受診者	商業観光課	シルキーバス回数券購入者（おでかけパスを除く）
	パパママ教室参加者	こどものくに	来館者
	離乳食教室参加者	秘書広報課	広報おかや「広報クイズ」の正解者の中から抽選

NEW

- ・現在の加盟店舗数 : 80店舗
- ・発行枚数（累計） : 24,494枚
- ・決済関係（R6年度9月末） : チャージ額 43,900千円、利用額 46,410千円

【 基本戦略1 重点施策1（重要度：A・優先度：A） 】

【 基本戦略1 重点施策2（重要度：A・優先度：B） 重点施策3（重要度：A・優先度：A） 】

③岡谷市中小企業融資制度

岡谷市制度資金は、中小企業の皆さまが事業に必要な資金を適正・円滑調達し、商工業の振興と健全な発展をしていただくため、**市が金融機関に対して資金を預託し、金融機関を通じて低利な融資を行う制度**です。

原則として長野県信用保証協会の保証付き融資となっており、この際、事業者が保証協会に支払う保証料は、一部資金を除き、融資実行時に市で一部または全額を負担しています。

○おかやグリーン成長対策資金

環境に配慮し、設備の設置又は改善したい、またはグリーンイノベーション市場へ参入したい中小企業者のなかで以下のいずれかに該当するもの。

令和6年度9月末現在実績なし。

①地球温暖化対策のための、太陽光発電装置等の自然エネルギー利用設備や省エネルギー設備を設置又は改善を要するもの。

②事業所の節電及び省エネルギー対策のための設備の設置、改善及び修理に要するもの。

③グリーンイノベーション市場等の環境分野に新たに参加するために必要な施設・設備及び研究・開発に要するもので、参入事業計画が立てられる事業内容であるもの。

④その他、環境への負担が少ないと認められる設備及び環境保全に資する技術の研究・開発によるもの。

	貸付利率・貸付期間等
資金用途／限度額	運転・設備資金／5,000万円
貸付利率	年利0.8%
保証料	全額補助(市)
貸付期間／返済方法	設備：10年以内(据置1年以内含)／月賦返済 運転：7年以内(据置1年以内含)／月賦返済

○原油価格・物価高騰等対策特別資金

原油価格・物価高騰等の影響を受け、企業収益が減少している中小企業者のなかで、以下のいずれかに該当するもの

令和6年度9月末現在実績21件（うち商業関係1件）。

①最近3ヶ月の売上総利益率が過去3年間のうち、いずれか同期のいずれか同期の売上総利益率と比較して5%以上減少

②最近1ヶ月の売上総利益率が前年同期の売上総利益率と比較して5%以上減少し、かつ、その後2ヶ月間の見込みを含む3ヶ月間の売上総利益率が前年同期の売上総利益率と比較し5%以上減少

③セーフティネット5号を利用するものの中で、市長が認めたもの

	貸付利率・貸付期間等
資金用途／限度額	運転資金／2,000万円
貸付利率	年利0.8%
保証料	全額補助(市)
貸付期間／返済方法	5年以内(据置1年以内含)／月賦返済

④創業スクール

岡谷・諏訪・茅野・下諏訪の3市1町の自治体・商工会議所が連携して、諏訪地域で起業・創業をするために必要な実践的基礎知識を学ぶことができるスクールが開講されています。創業前の心構え、ビジネスプラン作成、経営の分析手法など起業・創業に関する充実のカリキュラムです。（今年度は定員に達したため受付終了。）

【募集対象】

▶ 起業を考えている方 ▶ 起業に不安をお持ちの方 ▶ ビジネスプラン作成を学びたい方 ▶ 仲間と出会いたい方

特定創業支援等事業

・国から認定を受けた創業支援等事業計画に基づき、右表の★印のあるカリキュラムをすべて受講し、かつ全体の70%以上出席した受講者は、各種支援施策が適用されます。（株式会社設立登記時の登録免許税の軽減 等）

※岡谷市の補助制度

- ・広告宣伝支援（補助率1/2以内、限度額30万円）
ホームページやパンフレット作成等、広告宣伝に係る経費
- ・備品等購入支援（補助率1/2以内、限度額20万円）
備品、機械装置・器具、事務機器等の購入に係る経費

【令和6年度実績（9月末時点の申込状況）】

申込者数27名（うち岡谷市からの参加者5名）

カリキュラム				
日程		テーマ	講座内容	時間 特定創業支援等
1	10/5± 9:00～17:00	セミナーのあらましを理解し、事業・会社を思い描く	創業スクール概要・カリキュラム説明・特定創業支援の説明と特典	1.0h ★全般
			セミナーの到達点・創業前の心構え	1.0h
			創業って何だろう	1.0h
			創業する際の手続き（ルール・支援施策・労働保険・共済など）	2.0h ★経営 ★人材育成
			グループワーク 事業・会社を思い描く①	2.0h
2	10/12± 9:00～17:00	創業のあらましと事業・会社の組み立て方を理解する	グループワーク 事業・会社を思い描く②・グループ発表	2.0h
			SWOT分析のワーク①	1.0h ★経営
			SWOT分析のワーク②	2.0h
			販売促進・業務効率化・パソコン会計・e-taxなど	2.0h ★販路開拓
3	10/26± 9:00～17:00	経営分析手法の基礎、会計を理解する	事業の階層・4P分析・PDCAサイクル	1.0h ★経営
			ビジネスモデルキャンパスのワーク	2.0h ★全般
			オープンマインド【マダラート】を使ったワーク	2.0h ★全般
			記帳、決算、納税	2.0h ★財務
4	11/9± 9:00～17:00	お金と法律について学ぶ・経営分析手法の応用	会社と法律	1.0h ★経営
			資金繰りとワーク（お金のやりくり）	2.0h ★財務
			制度資金とその仕組み	0.5h ★財務
			信用情報機関について	0.5h ★財務
			金融機関について	2.0h
5	11/16± 9:00～17:00	創業計画を作成する①	創業計画の狙い	1.0h ★全般
			創業事業計画書作成①	7.0h ★全般
6	11/30± 9:00～17:00	創業計画を作成する②	創業事業計画書作成②	2.5h ★全般
			発表と講評	4.5h ★全般

⑤テクノプラザおかや コワーキングスペース

リモートワーク、ワーケーション、ソーシャルビジネスなどの多様な働き方に対応すべく、テクノプラザおかや内に予約不要で利用可能なドロップイン型のコワーキングスペースを開設しました。

安価な料金で長時間利用可能であり、リモートワーカーやフリーランスの方以外にも、市内で創業を希望する方、創業間もない方の事務スペースとして活用されています。

○コワーキングスペース利用実績

	岡谷市内	諏訪地域内 (岡谷市以外)	長野県内 (諏訪地域以外)	長野県外	シェアオフィス 入居者	その他 (団体利用)	合計
令和5年度	198	64	114	199	6	310	891
令和6年度 (9月末)	67	19	81	133	2	200	502

○利用目的内訳（複数回答有）

	リモートワーク	WEB会議	商談	創業準備	その他
令和5年度	477	90	8	3	454
令和6年度 (9月末)	220	45	1	1	221



定員
1階：20名
2階：10名

料金(1人)		営業時間	
1時間以内	100円	平日	8:30～21:30
1時間超～ 6時間以内	500円	土日	8:30～17:30
6時間超	1,000円	休館日	祝日及び 年末年始(12/28-1/3)

(利用可能な設備等)

・無料Wi-Fi ・プリンター ・シュレッダー ・プロジェクター
・スクリーン ・ホワイトボード ・空気清浄機 ほか

⑥おかやシェアオフィス

令和5年1月末日、イルプラザアミューズメント施設2階におかやシェアオフィスが完成、令和5年4月より運用開始となりました。

近年の多様な働き方に対応し、首都圏等に拠点を置く企業のサテライトオフィスとして、若者の地方回帰の受け皿となるべく、**創業支援を充実させ、新たに事業を始めるスタートアップの場所**として、利用促進に関する事業などを通じ、企業誘致や関係人口の創出を推進します。

○利用実績

部屋	個別ブースA (6ブース)	個別ブースB (4ブース)	オフィス (3室)
令和6年度 (9月末)	4者	3者	3者

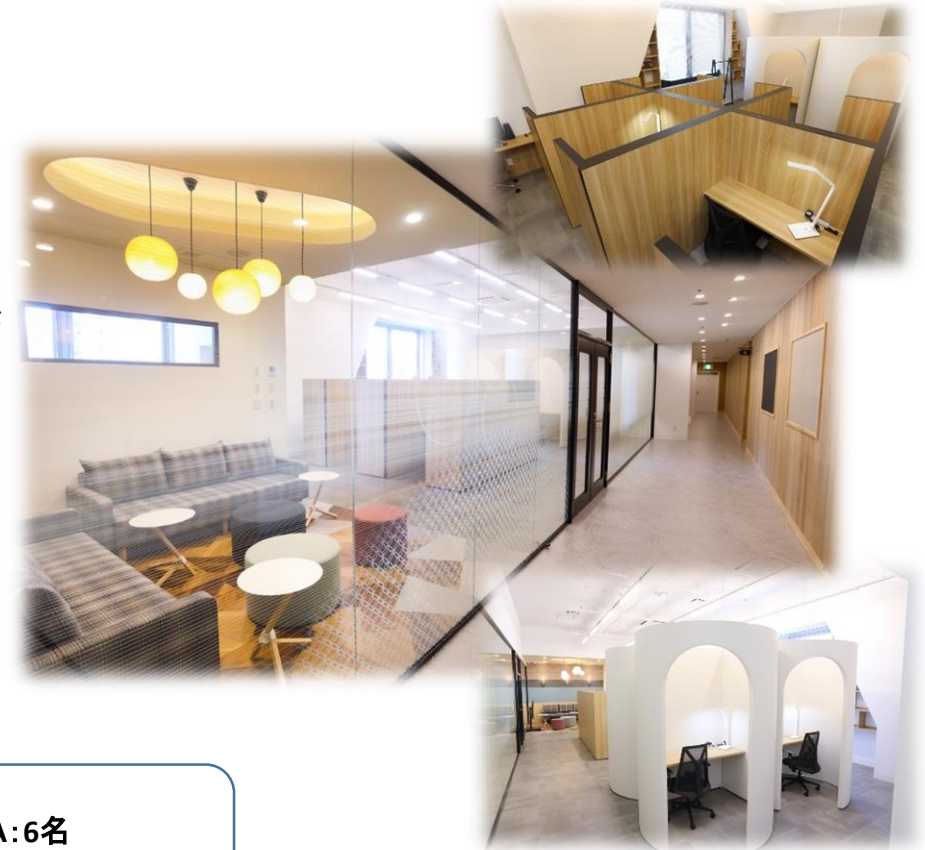
【参考】使用料等

部屋	面積(㎡)	月額使用料① (円)	月額使用料② (円)	営業時間	
個別ブースA	1.68	10,000	5,000	開館日	8:00～21:30
個別ブースB	2.18	13,000	7,000		
オフィス1	10.2	63,000	32,000	休館日	年末年始 (12/29-1/3)
オフィス2	10.4	65,000	33,000		
オフィス3	9.2	57,000	29,000		

定員
 個別ブースA:6名
 個別ブースB:4名
 オフィス1～3:各室3名程度

(利用可能な設備等)WEB会議対応モニター

- ・無料Wi-Fi ・複合機 ・(可動式有)
- ・スマートロック ・ポスト、宅配ボックス ・テクノプラザ連絡用PC ほか



⑦空き店舗情報発信強化事業

空き店舗の活用と新規創業を促進するため、不動産業者、商工会議所と連携を深める中で、空き店舗に関する情報を積極的に発信するとともに、新規創業希望者と空き店舗のマッチングを推進しています。

なお、諏訪圏における最新の物件を紹介している「ココスマ諏訪」のご協力をいただき、令和5年度から岡谷市のホームページにリンクを貼らせていただき、ご覧になれるようになりました。

- ・令和2年度成約実績・・・5件
- ・令和3年度成約実績・・・2件
- ・令和4年度成約実績・・・0件
- ・令和5年度成約実績・・・3件
- ・令和6年度成約実績・・・0件（9月末時点）



【空き店舗紹介】加茂町二丁目(県営住宅向かい)



建物管理者から提供いただいた情報を公開しております。

ひとくちメモ

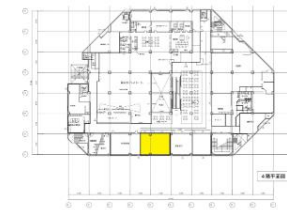
県営住宅向かい側の物件。Tpr近く。以前飲食店が営業。

【空き店舗紹介】イルフプラザ4階（飲食店向き2）

更新日：2023年06月14日



店舗入り口の写真



イルフプラザ4階平面図

建物管理者から提供いただいた情報を公開しております。

ひとくちメモ

以前は飲食店が入っていました。

【空き店舗紹介】湖畔一丁目(児童遊園向かい)

更新日：2023年04月11日



※図面と異なる場合は現況優先とします

基本戦略 2 消費者満足度向上戦略

【重点施策】

- (5) 消費者から選ばれる
商店の魅力向上に向けた支援
- (6) 市内店舗などの知名度向上に向けた
情報発信の推進
- (7) 市外からの顧客獲得に向けた取組

⑧商業のしおりの発行

商業者のほか、創業者や市内に出店を考えている方に対して、利用することができる補助制度や事業承継に関する情報など各種支援メニューを掲載した**令和6年度版『商業のしおり』**を作成しました。

第2次岡谷市商業活性化計画の内容を反映するとともに、利用しやすいよう各種ホームページ等へのQRコードを追加するなど、改良されています。 個店経営者向けの「創業」「事業継続」「事業発展」の支援メニューと、中小企業向けの金融制度や、福利厚生事業、商業会向けの支援など6項目に分け、**それぞれのビジネスステージに合わせた支援内容**を紹介しています。

市だけではなく、県や岡谷商工会議所の支援内容等についても記載しています。



商業支援メニューのご紹介

■はじめに	P. 1
個店の経営をされる方向へ	
■創業支援	P. 2
創業に必要な知識を学ぶ、創業に関する情報を知りたい、創業について相談したい、空き店舗を探す、補助金を活用したい	
■事業継続の支援	P. 8
経営について相談したい、知識を身につけたい、事業資金の融資について等	
■事業発展の支援	P. 12
お店の経営について専門家に相談したい、事業承継について相談したい等	
■経営面の支援	P. 15
中小企業金融制度	
■その他の支援	P. 21
(一財)諏訪湖勤労者福祉サービスセンター入会のご案内	
■商業会向け支援	P. 22
商業会で駐車場を運営したい、商店街でお祭りや売り出しイベントを行いたい等	
【参考】岡谷市商業活性化計画(抜粋)	P. 24
(1) 岡谷市内の商業会分布図	
(2) 事業者数、従業員数、年間販売額	
(3) 大規模小売店舗の状況	
(4) 商圏人口	
(5) 商業振興における岡谷市内での近年の主な取組み	
(6) 消費者の動向	
(7) 岡谷市商業活性化計画の体系図	
※岡谷市商業活性化計画は、岡谷市のHPに掲載しています。	
○岡谷版地域電子マネー「Okaya Pay」	P. 31

【 基本戦略2 重点施策6(重要度:B・優先度:A) 】

【 基本戦略1 重点施策1(重要度:A・優先度:A) 】

【 基本戦略2 重点施策5(重要度:A・優先度:A) 重点施策7(重要度:B・優先度:B) 】

⑨Instagramを活用した商店魅力発信事業



令和2年8月1日からアカウント「enjoy_okaya」を開設し、市内店舗等の知名度向上と誘客促進につなげることを目的に、Instagramを活用した市内店舗情報（店舗外観や商品・サービス内容）の発信を行っています。

開設から4年が経過し、現在フォロワー数は**1,488人**です。概ね月2～3回のペースで情報を更新しており令和6年度の上半期で**19回投稿**しています。

広報おかやの店舗紹介につきましても引き続き実施し、岡谷のお店紹介や各種イベント、事業の紹介などを幅広く周知し、PRに努めていきます。



⑩観光宣伝事業

◆岡谷市観光案内所運営事業

岡谷駅構内の観光案内所では、観光案内をはじめ、e-バイクやシティサイクルのほか、**新たに電動アシスト自転車5台を導入**し、レンタサイクル事業を行うなど、本市の魅力を幅広くPRしています。

	案内所訪問者数	レンタサイクル貸出台数
R5実績	12,081人	950台
R6実績 (9月末)	7,714人	792台

◆岡谷市ワーケーション等実施支援補助金

ワーケーション等を目的として岡谷市を訪れる企業等を支援するため、宿泊費を対象に補助金を交付しています。

企業		個人事業主		学生		合計
1件	東京都	9件	東京都 神奈川県 千葉県 京都府 長野県	1件	神奈川県	11件



観光案内所



レンタサイクル



ワーケーション

【 基本戦略2 重点施策7(重要度:B・優先度:B) 】

【 基本戦略1 重点施策1(重要度:A・優先度:A) 】

⑩観光宣伝事業

◆諏訪湖サイクリングロード活用推進事業

諏訪湖サイクリングロードの全線開通と諏訪湖スマートインターチェンジの開通を見据えて、岡谷市の持つ自然景観、観光、歴史文化、食などをサイクリングで繋ぎ、観光客に地域の魅力をPRします。

●モニュメント作成・設置工事

サイクリングツアーや広報活動を通じて県内外の観光客を誘客するためのツールとして、岡谷湖畔公園 “希望の広場”に諏訪湖と岡谷市を発信するモニュメントを作成・設置します。

●諏訪湖サイクリングツアーの実施

実施日	ツアー名	参加者内訳
7月7日	サイクリング&カヤックで巡る諏訪湖一周	神奈川県4、東京都1、愛知県2 長野県7(諏訪2、伊那1、箕輪1、駒ヶ根1、 飯田1、岡谷1)
10月26日	サイクリング&ワカサギ釣り	



サイクリングツアー

⑪岡谷シルク商品開発促進事業

岡谷シルクの普及促進に向けて、岡谷シルクブランド協議会で認定する岡谷シルク製品アイテムを増やし、岡谷市＝シルクのイメージPRにつなげていくため、岡谷シルクを使った新商品の開発及びデザイン費などの経費に対して、その一部を補助するものです。また、岡谷シルクの認定商品が増えることで、**来訪者へシルクの魅力を知っていただくきっかけとなる**ため、シルク関連の観光土産品としての販売も目指していきます。

(令和6年度9月末時点：7件)

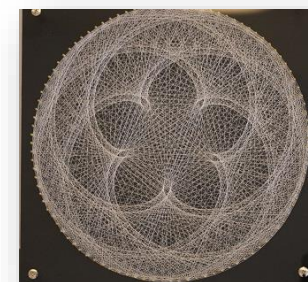
概要：国内事業者等が岡谷シルク製品の認定を目指し、新商品の開発及びデザイン費などの製作に係る経費の一部を補助する。

対象経費：原材料費、製品の附属材料費、外注加工費、委託費など

補助額：事業費の1/2 ※上限20万円

○岡谷シルクブランドに認証・登録された件数（参考）

	プラチナシルク	マルベリーグリーン	スワコブルー	アザレアレッド	合計
登録件数 (R6年度登録件数)	5件 (0件)	46件 (14件)	20件 (2件)	8件 (1件)	79件 (17件)



基本戦略 3 商業組織の連携・強化戦略

【重点施策】

- (8) 商業会の魅力向上に向けた取組
- (9) 商業活性化に向けた関係者間連携の促進
に向けた取組 ／ 市内商業者の積極的な
事業活動への参画に向けた取組 ／ 商業
振興 に繋がるイベント推進に向けた取組

⑫市内店舗/商業会等との定期的な意見交換

現在、定期的な店舗訪問等を通じて、経営状況の把握や相談対応に努めているところですが、経営者の高齢化が進んでいる中、岡谷市で長年愛されてきた店舗がなくなる途絶えることがないように、引き続き、きめ細やかに対応していきます。

また、物価高騰等の影響等による経営状況についても、定期的に調査をさせていただき、その結果を施策に反映するよう努めております。

◆ 市内商業経営状況調査

聞き取り先：市内小売業、飲食業、アミューズメント施設等

頻度：2～3月に1回

調査方法：電話、訪問

調査項目：①売り上げ状況、②資金繰りの状況、③今後の見通し、④雇用状況、⑤新規採用状況、⑥国、県、市への要望事項

◆ 調査内容のフィードバック

市内商業経営状況調査の対象となった事業者に対し、調査終了後、集約した調査結果を共有しています。

◆ 要望書関係

・岡谷商工会議所（10/7）

その他、岡谷商工会議所、商業会、随時情報交換、情報提供している。



⑬岡谷TMO商業活性化事業補助金

岡谷TMOで実施している「商業活性化補助金」に対し、市が原資を支援しています。

○現在までの主な交付実績

- ・いとまち商業会（きつね祭）、童画館通り商業会（きつね祭）、
イルフプラザ店舗会（イルフプラザ誕生祭、イルフの日、イルフプラザ夏祭り）・・・販売促進活動事業

きつね祭



イルフプラザ夏祭り



【2】岡谷商工会議所

【 基本戦略1 重点施策1（重要度：A・優先度：A） 】

⑭Okaya Pay事業の推進

地域電子マネーとポイントによる地域内での経済循環サイクルを構築して、商業振興の取り組みを実施した。

1. 利用状況

	電子マネー発行額	電子マネー利用額	ポイント発行額	ポイント利用額	発行カード枚数
令和2年度	1247万円	734万円	569万Pt	198万Pt	4,218枚
令和3年度	9532万円	9327万円	2046万Pt	1473万Pt	8,244枚
令和4年度	1億2742万円	1億292万円	4995万Pt	2837万Pt	10,354枚
令和5年度	7663万円	9085万円	606万Pt	1620万Pt	1,312枚
令和6年度	4389万円	4641万円	323万Pt	339万Pt	365枚
〔累計〕	3億5575万円	3億4080万円	8540万Pt	6469万Pt	24,493枚



（R6年度9月末時点の実績）

2. 導入店舗

80店舗（内訳：暮らし 23店舗、ファッション 6店舗、美容・健康 11店舗、フード 21店舗、グルメ 19店舗）

3. 利用促進に向けた取り組み

①各種キャンペーンの実施

・春のキャンペーン

令和6年4月27日(土)～29日(月)の期間、電子マネーでの支払い額の10%をポイントとして付与

＜実績＞ 期間中電子マネー利用総額：4,799,948円 付与ポイント数：441,077 Pt

・夏のキャンペーン

令和6年7月22日(月)～8月18日(日)の期間、電子マネーでの支払い額の10%をポイントとして付与

＜実績＞ 期間中電子マネー利用総額：13,097,734円 付与ポイント数：636,929 Pt

・秋のキャンペーン

令和6年9月1日～11月30日のうち「0」のつく日と10月17日～19日の3日間、

電子マネーでの支払い額の10%をポイントとして付与

・ウェルワーク諏訪湖との連携事業

ウェルワーク諏訪湖会員向けにキャンペーンを実施。利用者数増と地域内の消費喚起を目指して実施。本取り組みは令和2年度より継続して実施。

＜実績＞ 総申込数176口 付与電子マネー総数：880,000円 付与ポイント総数：88,000 Pt



②取扱店拡充

端末機(iPad)1台分の補助金、レシートプリンター・タブレット端末の無償貸出により、導入費が実質0円になる支援を継続実施。

4. その他

①長野県「しあわせバイ信州運動」への参画

県産品の地産地消や地元商店の利用促進に積極的に取り組むことで地域内経済循環を推進する運動であり、OkayaPayの目的と合致するため参画。県主催イベントで事例紹介やキャンペーン、広報媒体にてロゴマーク等を表示している。

②視察、セミナー講師等による事例紹介

地域デジタル通貨のニーズが高まる中、全国でも導入が早かったOkaya Pay事業の視察や講師派遣等の依頼があり、先進事例として注目されている。運営に必要な費用を補助金や負担金に頼らない自走できる体制や利用者の状況に合わせたサービス提供、資金決済法に対応した法令遵守を前提とした仕組みなどを他地域より評価いただいている。尚、視察受入の際には実際にOkaya Payを利用いただくよう紹介することで、視察受け入れによる取扱店への波及効果を生む工夫も実施している。

・令和6年度前期 視察等実績 3件 (R2 7件、R3 6件、R4 13件、R5 9件)

視察：玖珠町商工会（大分県） メディア等掲載：日本経済新聞（9/28）、地方創生の政策効果とデータ分析（書籍）
（10月以降の予定：長野県産業労働部／諏訪地域振興局、玖珠町議会（大分県））



⑮地域資源活用推進事業

1. 岡谷シルクブランド事業

岡谷市役所ブランド推進室と連携を図り、シルク製品のブランディングや販路開拓などの、地域団体商標の登録を目指して取り組みを実施した。

①岡谷シルク認証審査ワーキンググループ

岡谷シルクブランド認証基準に基づく審査を実施するワーキンググループの座長及び委員を当所職員が務め、審査を実施。令和6年度前期で2件の商品・サービスを認証した。

②物販イベントへの出展

商品の販路開拓に向けた物販イベントに出展。

商品の販売に併せて岡谷市の紹介もすることで、来訪する観光客等を増やす取り組みも併せて実施した。

・6月8日(土) SHIDAマルシェ（静岡県焼津市）



認証された商品等を物販イベントにて販売

2. 岡谷味噌ブランド事業

市内味噌製造事業者のブランディングや販路開拓などの取り組みを実施。

① ぼくもわたしも おかやっ子事業 みそ体験

岡谷市役所子ども課と連携を図り、市内保育園にて園児を対象とした味噌仕込み体験を実施。

味噌ができあがるまでの工程を知っていただくとともに、完成した味噌を食べることで食育につながることも目指している。

・令和6年度 8保育園にて実施（小口、今井、成田、みなと、横川、ひまわり、東堀、長地）

② 岡谷味噌認定制度

岡谷市内の味噌製造事業者の味噌を使った商品や料理を提供している事業者を対象に、認定基準を満たした事業者を認定する制度。単発的なPRではなく、地域全体で岡谷味噌のブランド力を高めることを目的として実施している。

現在までに24事業所(市外6事業所含む)を認定。

③ 首都圏での岡谷味噌PRイベント等の開催

岡谷味噌を広く知っていただくことを目的として実施。

実施にあたり、首都圏在住の若者や都内で営業する飲食店と連携を図っている。

・プレオーダーマーケット信州岡谷編（47都道府県レストラン箕と環、6月7日(金)）

Shinsyu Okaya

買える! 学べる! 食べられる! / **プレオーダーマーケット** 信州岡谷編 味噌

長野県岡谷市の歴史、文化、産業を学び、味わい、買って帰れる。そんな1日です。
第三回目となる今回のテーマは「味噌」
味噌をキーワードに「学び」と「味わい」ふたつの楽しみを層層していきます。

岡谷市の食料を送料無料で地元のそのまもの金額で買い求めいただくことができます!
※事前にご注文が必要です

イベント参加者
ご注文はこちら!

第一部 勉強会 19:30~

Chapter 1 「歴史は学ぶ長野県岡谷市」
おへつ製菓店や福島の味噌屋や味噌の歴史や味噌の生産地について学びます。
歴史と味噌、岡谷の味噌づくりに関する疑問に答えたい。

小島真樹さん

Chapter 2 「ズバリ味噌とは?」
味噌の歴史や味噌の種類や味噌の生産地について学びます。
味噌の生産地や味噌の生産方法について学びます。

川村裕子さん

Chapter 3 「事業者のウラ側」
オンラインで味噌の生産現場や味噌の生産現場をリアルタイムで生中継します。
味噌の生産現場や味噌の生産現場について学びます。

森田真樹さん 佐々木真樹さん

第二部 懇親会 20:20~

2024年6月7日(金) 19:30開場~22:00終了

【会場】 47都道府県レストラン 箕と環 -HINO TO WA-
〒102-8021 東京都中央区日本橋本町4-4-4 都立HINO TO WA
【参加費】 3,500円(食事+ドリンク付き) / 買い物は別
※当日現金のみ。振込のお振込みの場合は事前にお振込みください。

主催: 47都道府県レストラン 箕と環 -HINO TO WA- 共催: 岡谷市 協賛: 岡谷市観光協会

3. 観光資源を活用したイベントの実施

岡谷市内にある諏訪湖や鳥居平やまびこ公園、シルクファクトおかやなどの魅力ある観光資源を活用したイベント等を実施することで、地域内外から集客を図り、商業活性化に向けた取り組みを実施する。

①おかやキッチンカーフェス in 岡谷湖畔公園（令和6年4月、9月開催）

岡谷湖畔公園（グラウンド）を会場として、市内外のキッチンカーや物販・ワークショップなどの事業者に出店いただき、いずれも2日間開催。集客力を高めるため高校生まちづくりグループAOHSや市内のフラダンスサークルと連携を図り、ステージ発表も同時開催した。

市内外より二日間で延べ約7500人が来場するイベントとなっており、岡谷市内を拠点にしているキッチンカー事業者などを知っていただくことにもつながっている。

<開催概要>

・Vol.2

開催日 令和6年4月20日(土)、21日(日)

出店数 キッチンカー33台、テント16店（いずれも延べ数）

・Vol.3

開催日 令和6年9月7日(土)、8日(日)

出店数 キッチンカー44台、テント27店（いずれも延べ数）



⑯創業支援及び新事業創出等支援事業

創業を希望する方を対象に個別及び集団での支援を実施。令和5年前期の支援状況は以下の通り。

1. 継続個別相談支援事業（諏訪地域広域専門指導員による全4回の個別創業支援）

1件

2. 創業者向け補助金申請や融資申込みに向けた事業計画書作成支援

2件

3. 諏訪地域創業スクール

10月5日(土)～11月30日(土)のうち6日間

参加申込者数：30名

4. その他

創業を希望する方に対して、随時、窓口にて支援を実施



⑪移住・定住促進支援事業

岡谷市役所ブランド推進室を始め、岡谷市役所内の関係課と当所が事務局を務める岡谷市ブランドプロモーション協議会にて、移住・定住促進に向けた事業を実施。協議会は市内の商業者を始めとした民間事業者の方々が委員を務め、事業者の視点で事業の検討を行うことで、行政・経済団体では取り組むことができないようなことを実施できる体制となっている。

＜主な取り組み状況＞

- ・講義及びワークショップ：8/23開催

テーマ マーケティング戦略から未来の岡谷を創造する

講師 東京経済大学経営学部教授 田中 智晃 氏

- ・移住フェア視察：9/21、22開催「第22回ふるさと回帰フェア2024」

＜今後の取り組み予定＞

- ・岡谷市内の魅力となるコンテンツを知ってもらうための情報発信
シティプロモーションに特化したWEBサイトの構築、
ターゲットを明確にした情報発信手法の検討、他



⑱プロスポーツチーム連携による地域振興の推進

長野県内を拠点として活動するプロスポーツチームは、地域に根差した活動をしており、また競技によっては会員事業所に社員として所属する選手もいる。そのため、各スポーツチームと連携を図り、地域振興に向けた取り組みを実施。

1. 松本山雅FCとの連携

山雅後援会岡谷支部やNPO法人維新塾と共同でイベント等を実施。ファン、サポーターが参加する形式で実施した。

- ・俺らが信州！この街と共に！！信州ダービー特別企画チラシ配り

(公式戦PRチラシ配布) (6月20日(木) 岡谷駅前)

- ・この街のために！この街と共にツヨクナル!!緑化大作戦

(公式戦PRポスター配布、ゴミ拾い) (8月10日(土) 中央通り・イルフプラザ周辺)

- ・公式戦アウェイ観戦イベント

(4月6日(土)、13日(土)、5月6日(月)、6月8日(土)、22日(土)、7月6日(土)、20日(土)、
8月24日(土)、31日(土)、9月14日(土)、22日(日) カネイビル1階)



岡谷駅前でのチラシ配布

【3】 岡谷TMO

【 基本戦略1 重点施策2(重要度:A・優先度:B) 重点施策3(重要度:A・優先度:A) 】

⑭ 中心市街地の情報把握と活用

中心市街地に存在する空き家・空き店舗等の情報把握を行い、その活用として空き家見学会・まちあるきを実施。

空き家等の物件紹介に加え、まちの歴史や魅力の発信、新規出店事例の紹介も交えるなど、まち歩き要素を強めたことで、参加の敷居を下げ、毎回一定の方に参加いただいている。また、Facebook広告の活用や、辰野町で実施の空き家見学会と連日開催となるように開催日時を調整したことにより、県外からの参加者も多く見受けられている。

5月より隔月にて見学会を開催しており、本年度で3回（累計23回）開催している。

1. 空き家見学会開催回数：3回 ※10月現在（本年度は5月・7月・9月・11月・1月・3月の全6回を予定）
2. 空き家見学会参加者数：13名（5月/3名、7月/9名、9月/1名）
3. 空き家利用実績：7件（平成30年度からの累計）



空き家見学会の様子



空き家の紹介



空き店舗の紹介



活用事例の紹介

②0まちづくり人材の育成

中小機構 中心市街地・商店街等診断・サポート事業

令和5年度に採択された中小企業庁 外部人材活用・地域人材育成事業が中小機構に移管されたものであり、まちの課題解決の為に専門家を派遣する制度。

令和6年度は本制度に採択され、専門家と共に令和5年度に策定したアクションプランに基づき、中心市街地活性化を担う組織体制等の検討として、まちづくり会社の設立や実施する事業及び拠点となる施設についての整理を行っている。

また、まちづくりに関わる人材の発掘や機運を高めることを目的に「これからの岡谷市 中心市街地を考えるセミナー」を開催。商店街関係者のほか、まちづくりに興味のある一般の参加者を募り、2回のセミナーで約50名が集まり、それぞれの想いを発表した。今後、商店街等関係者やセミナー参加者にて、「岡谷の中心市街地がこうなったらいいな」を手書き地図にて表現する「岡谷まちなか未来図」の作成を進めていく。



専門家による支援



セミナーの様子

②1 道路・公園等の公共空間の有効活用

Park(ing)Dayの手法を参考に、県内外の学生や空間づくり・まちづくりに興味のある方を募り、屋外空間活用に係る研修会を開催、受講者自らが「過ごしたい空間」を考え実現する「Park Design Lab（パークデザインラボ）」を実施した。

受講者からは「制約の多い公共空間で、ひとつずつ課題をクリアしながら空間づくりに挑戦できたことに達成感を感じた」「今回の短期的・仮説的な空間づくりから、長期的・本格的なまちづくりに進化させるチャレンジも行いたい」といった意見が挙げられた。

1. 研修内容： 7月3日（水）：第1回研修会（参加者顔合せ、屋外空間活用の概要説明、事例紹介）
7月13日(土)：第2回研修会（会場周辺のまちあるき、企画内容検討等）
8月7日（水）：第3回研修会（各チームによる経過報告①）
8月21日(水)：第4回研修会（各チームによる経過報告②）
9月14日(土)：空間づくり実践
9月25日(水)：受講者による報告会の実施
2. 受講者数：10名（県内者7名、県外者3名）
3. 開催場所：童画館通り



童画館通りで現地確認をする受講者



企画内容を検討する受講者

②1 道路・公園等の公共空間の有効活用



歩道に足跡のステッカーを貼り会場へ誘導



通行人と一緒にポッチャをプレイ



垂直飛びに挑戦する学生



子ども達とポッチャで対戦



DIYによる什器の制作



制作した什器を並べてくつろぐ



歩道のマス目を活かしたオセロ



通行人を巻き込みパズルに挑戦

②②中心市街地イベントの実施支援

【第72回 岡谷きつね祭】

昨年度に引き続き、童画館通り商業会、イルフプラザ店舗会、いとまち商業会での「子供向け縁日」を実施したほか、きつね祭の歴史で謳われている「縁結び」「恋愛成就」をテーマとした「木札による稲荷社の回遊企画」や、AOHS(岡谷高校生まちづくり会議)と連携した「フオトスポットの制作」などを行った。そのほか新規企画として、前回のきつね祭にて制作したきつねキャラクターの命名イベントも行い、応募総数621件と盛り上がりを見せた。

また、今回よりレイクウォーク岡谷も実行委員会に加入いただき、店舗内に特設コーナーを設置いただいたほか、お祭り当日にも各種イベントを実施し、各会場への回遊を図った。

【来場者数：約1,500人】



童画館通り会場の様子



イルフプラザ会場の様子



いとまち会場の様子」



ネーミングチャレンジを行ったキャラクター
(ふくちゃん/つかくん)

②③情報発信の強化

毎週金曜日正午～15分程度、イルプラザ1階LCVFMサテライトスタジオから個店の魅力発信や、中心市街地の活性化に向けたPRなど、店主などを招いて生放送を実施。

ラジオ放送の様子を、LCV内のテレビ番組でも放送していることから、出演者が実際に販売している商品等をスタジオに持込み、ラジオ放送に併せ、映像による情報発信も実施している。【放送回数30回、出演者数43人（10/16現在）】



4/19 キッチンカーフェス



7/26 岡谷きつね祭



8/9 岡谷太鼓まつり



9/20 笠原書店

②4 商業活性化補助金の交付

市内の商業振興を図ることを目的に、市内の商業会等で実施したイベント等に対し、予算の範囲内で補助金を交付する。

【申請件数6件、申請額2,160,000円 交付済額773,000円（10/16現在）】

【岡谷TMO商業活性化事業補助金の対象となる事業費】

商業会、商業連合会、飲食組合など商業者が共同で実施し、以下に該当する事業で、事業費が10万円以上（会議費、飲食代を除く。）のものを対象とする。補助率は事業費の2分の1以内。

※以下に記す（連携）とは、大型店と商業会等又は2団体以上の商業会等が連携して行う事業を指す。

1. 販売促進活動事業(連携)	限度額34万円の範囲内で補助	
" (単独)	" 30万円	"
2. 施設整備事業	" 32万円	"
3. 商業セミナー・活性化研究事業	" 9万円	"
4. 商店街環境整備の調査研究事業	" 10万円	"
5. 情報収集事業	" 9万円	"
6. 商店街等装飾事業(連携)	" 34万円	"
" (単独)	" 30万円	"
7. 店舗等知名度向上事業	" 50万円	"
8. まちなか活性化推進本部長の認めた事業	" 32万円	"

【4】 岡谷市商業連合会

【基本戦略3 重点施策9(重要度:B・優先度:B)】

②⑤商業会等に参加する店舗を対象とした販売促進事業

商店街や地元商店の利用促進を目的に宝くじ方式による抽選企画を実施予定。10月より抽選券配布店の募集を行い、12月～1月中旬まで抽選券を配布する。当選番号の発表は1月中旬に行い、賞品の交換は1月中旬～2月中旬までを予定。

1. お買い物するなら岡谷！おかやジャンボ2025

・実施概要

- ①配布期間：令和6年12月2日（月）から令和7年1月14日（火）
- ②当選番号発表：令和7年1月21日（火）に地元紙やHP等で発表
- ③交換期間：令和7年1月21日（火）から令和7年2月18日（火）
- ④賞品（総賞品数：20,285本）

1等＝現金5万円×5本、2等＝抽選券配布店で利用できる商品券 3,000円×20本

3等＝抽選券配布店で利用できる商品券 1,000円×200本、4等＝Okaya Pay 50ポイント×20,000本

Wチャンス賞＝姉妹都市物産3,000円相当×100本(ハズレ券10枚1口で郵送または応募箱投函で応募)

2.シルキーバス利用促進事業

全国的に増加している高齢ドライバーによる交通事故等の状況等を受けて、運転免許証自主返納者へ無料回数券（12枚綴り）を3枚交付し、運転免許証自主返納者と75歳以上の方を対象とした、**おでかけパス**（シルバー回数券）を、1000円で販売しています。併せて、80歳以上の自主返納者の方に、福祉タクシー利用券（10回分）1枚を交付しています。

なお、令和6年度は、高齢者の方々に気軽にバスを利用していただくため、高齢者クラブの各地区代表者の方を対象に「バスの乗り方教室」を開催しました。

公共交通を利用することで、引き続き市街地に足を運び、買物・通院、社会参加ができるよう、高齢者の外出頻度向上を図ります。

- ・令和2年4月～：運転免許証返納者へ回数券等交付（12枚綴り 3枚＋オカヤペイカード）
- ・令和2年5月～：75歳以上及び運転免許証自主返納者へおでかけパスを販売（10枚綴りを1,000円）
- ・令和4年4月～：運転免許証自主返納者のうち80歳以上の方へふくし～利用券交付（1枚 10回分）
- ・令和5年4月～：エコドライブ推進事業所に対してシルキーバス回数券を交付（12枚綴り）



	令和6年度(9月末)	前年度同期比
運転免許証返納者への回数券交付	65件	+9件
おでかけパス販売枚数	609セット	+83セット
福祉タクシー（ふくし～）利用券交付	46件	▲2件
岡谷市エコドライブ推進事業所支援事業	5件(420回分)	▲9件(▲1,272回分)

